

経営理念、将来のありたい姿

経営理念

技術をもって社会の発展に貢献する
人材こそが最大かつ唯一の財産である

将来のありたい姿

自然と技術が調和する社会を創る

IHIの経営理念には、時代を超えて受け継がれてきた情熱と信念が息づいています。IHIの原点は1853年、ペリーの黒船来航を契機に設立された造船所にさかのぼります。世界の荒波に直面した日本に、技術の力で希望と未来をもたらしたい——そんな強い思いが、創業の背景にあったと私たちは考えています。

「**技術をもって社会の発展に貢献する**」という理念に込められた思いは、創業から今日に至るまで脈々と受け継がれています。IHIグループは創業以来、数々の挑戦と革新を重ね、日本初の技術や製品を生み出しながら、社会インフラの発展を支えてきました。造船からエネルギーインフラ、航空エンジンに至るまで、事業領域は広がり続けています。その根底にあるのは、「人」への深い思いです。社会を築くのも、技術を生み出すのも、全ては「人」の力によるものです。「**人材こそが最大かつ唯一の財産である**」という理念は、IHIグループの中心にあり、170年以上にわたる歩みを支える原動力となっています。

一方で、現代社会はますます複雑かつ多様化しています。気候変動の深刻化、国際紛争の激化、人権や多様性への意識の高まりなど、社会からの要請は日々変化しています。IHIはこうした課題に真正面から向き合い、技術と人の力で新たな挑戦を続けています。

IHIの将来のありたい姿「**自然と技術が調和する社会を創る**」は、単なるスローガンではありません。それは、地球環境とそこに暮らす人びとが持続可能であるために、未来世代も含めたあらゆる人びとが、豊かに安心して暮らすことができる社会を創るという信念の表れです。どんな時代にあっても、「人」と「技術」を軸に社会の期待に応え続ける——この普遍的な使命こそが、IHIグループの存在意義を象徴しています。